

座間市コミュニティバス運行見直しについて

資料 2

【目 次】

1. 座間市コミュニティバス見直しに関する現況整理.....	1
(1) 座間市コミュニティバス運行に係るこれまでの経過.....	1
(2) 座間市コミュニティバス運行概要.....	1
(3) 座間市コミュニティバスの利用・運行状況等の整理.....	2
(4) 座間市コミュニティバスの収支状況・運賃の設定状況.....	8
(5) サービスに関するアンケート結果.....	9
(6) コミュニティバスを含む市内バス路線を取り巻く現状.....	10
2. 座間市コミュニティバス見直しの方向性.....	11
(1) 課題と対応方針案	11
(2) 各課題への対応内容	12
(3) その他	20

令和 8 年 8 月

座間市地域公共交通会議

1. 座間市コミュニティバス見直しに関する現況整理

(1) 座間市コミュニティバス運行に係るこれまでの経過

年 月	出来事	概要
平成 16 年 11 月	試行運行開始	2 コースで試行運行開始 試行運行期間中に 4 回の見直しを経て、5 コースまで拡大
平成 24 年 3 月	本運行開始	5 路線、5 コース 全て車椅子で乗車可能な車両を採用
平成 29 年 2 月	見直し運行開始	5 路線、6 コース さがみ野駅乗入れ開始 運賃改定 (100 円→150 円) 小松原・相模が丘循環左回りコースに小型バス (ポンチョ) を導入
令和元年 10 月	見直し運行開始	各コース便数、ダイヤ等変更 小松原・相模が丘循環コースの一部ルートを見直し、小松原・病院経由コース、相模が丘コースを新設 市内全ての二次救急病院への乗入れ開始
令和 6 年 1 0 月	バスロケーションシステム・乗降客カウントシステム運用開始	スマートフォン等でリアルタイムにバスの位置情報や混雑状況を確認できるシステムを導入

(2) 座間市コミュニティバス運行概要

項 目	内 容
運行形態	乗合バス (定時定路線型)
運行日	・ 年末年始 (12/29~1/3) を除く毎日 ・ 平日、土曜・日曜日、祝日全て同じダイヤ
運行時間帯	7 時台~18 時台 (コース毎に異なる)
使用車両	A,B,D,E コース : ワゴン車両 (定員 10 名) C コース : 小型バス (定員 28 名)
運行ルート停留所	別紙「運行利用案内」参照
運賃	1 回乗車につき 150 円 (未就学児は無料) 回数券 (11 枚つづり) 1,500 円

座間市コミュニティバス
ザマフレンドズ
運行利用案内
令和4年4月1日~

運賃: 1回乗車につき 150円 (未就学児は無料です)
前払い: 6ヶ月以上前払い 小額をこまめに支払ってください
定額: A・B・D・Eコース 10円 Cコース 28円
回数券: 11枚つづり 1,500円 (小松原・相模が丘循環左回りコースは別途1,500円です)

座間市LINE公式アカウント
コミュニティバスの運行情報がわかります
※利用の際はご自身のLINEを接続してください

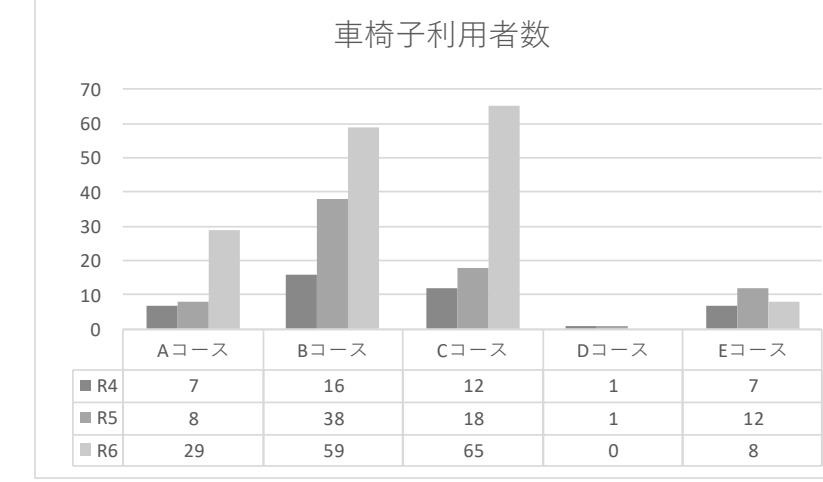
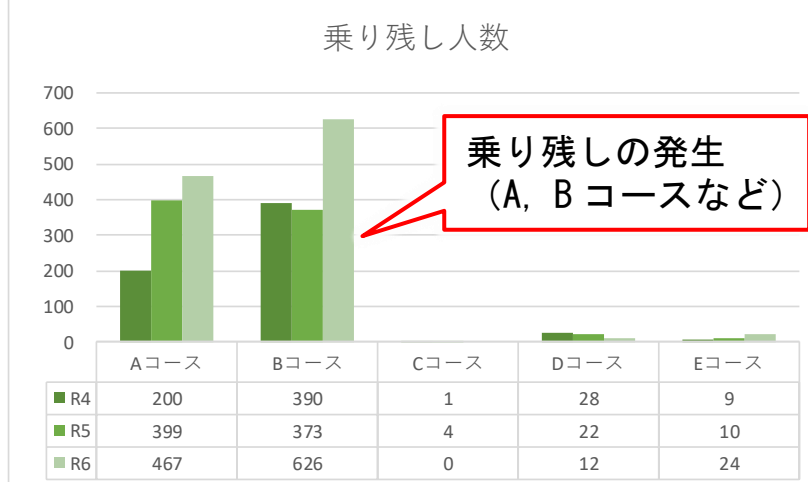
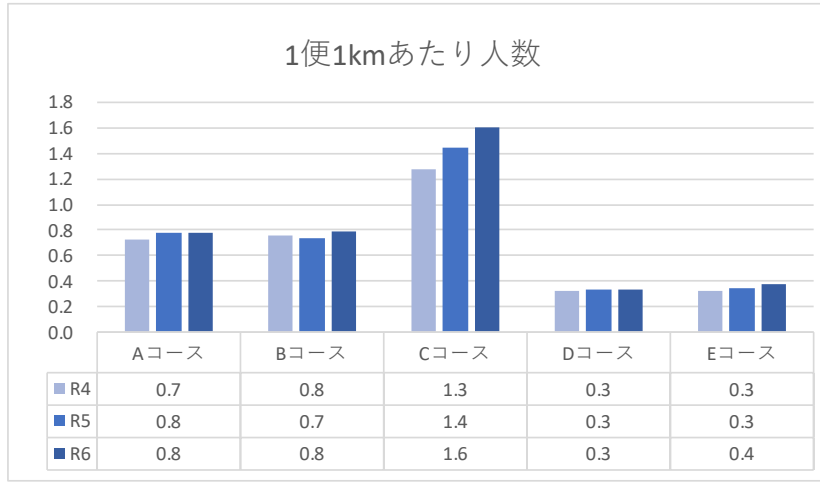
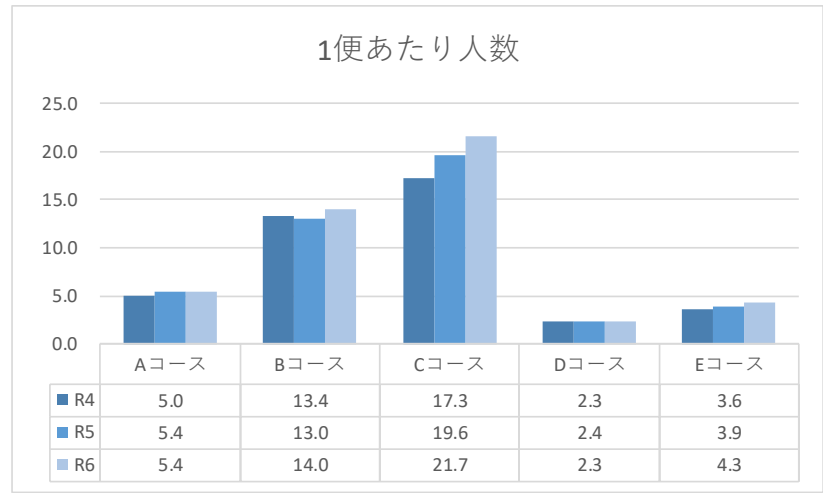
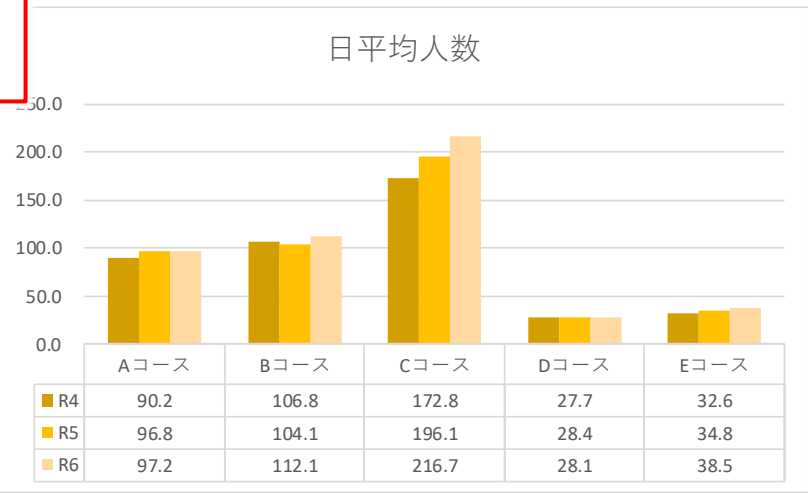
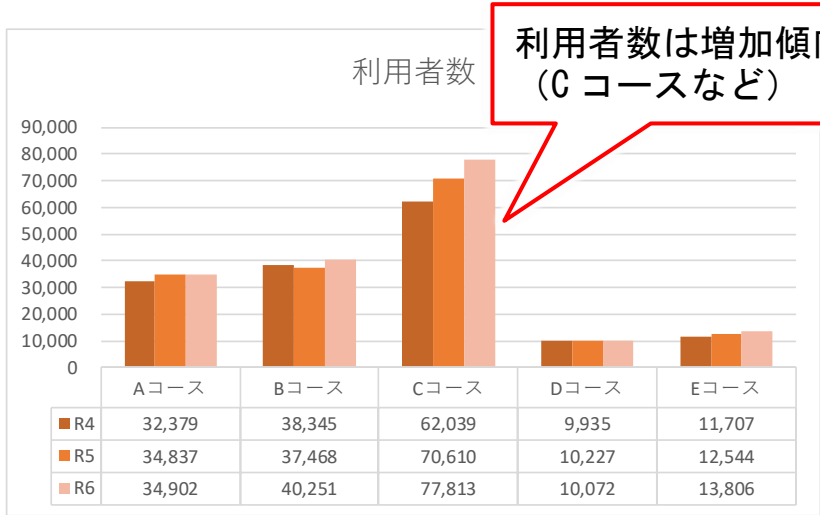
お問い合わせ先
(運行・運行状況について) 神奈中タクシー 座間営業所 ☎046(266)1525
(運行計画について) 座間市 都市部 都市計画課 ☎046(252)8289

(3) 座間市コミュニティバスの利用・運行状況等の整理

①コミュニティバスの利用実績の推移（令和4年度～令和6年度）

- 近年、コミュニティバス全体の利用者数は増加傾向にあり、コース別にみると小型バスで運行している「C 相模が丘コース」の利用者数が最も多く、令和6年度は77,813人となっています。
- 1便1kmあたり人数で比較すると、令和6年度は、小型バスで運行している「C 相模が丘コース」の人数が1.6人と最も多く、ワゴン車両で運行しているコースについては、「A さがみ野コース」「B 小松原・病院経由コース」が同数で0.8人、「E 西部方面循環右回り・左回りコース」が0.4人、「D 東原・ひばりが丘南コース」が0.3人となっています。
- 一方、利用者数の増加に伴い、乗残りが発生しており、コース別でみると、令和6年度は「A さがみ野コース」で467人、「B 小松原・病院経由コース」で626人発生しています。

コース名	車両	便数	ルート km数	利用者数			日平均人数			1便あたり人数			1便1kmあたり人数			乗残り人数			車椅子利用者数		
				R4	R5	R6	R4	R5	R6	R4	R5	R6	R4	R5	R6	R4	R5	R6	R4	R5	R6
A さがみ野コース	ワゴン	18	6.90	32,379	34,837	34,902	90.2	96.8	97.2	5.0	5.4	5.4	0.7	0.8	0.8	200	399	467	7	8	29
B 小松原・病院経由コース	ワゴン	8	17.65	38,345	37,468	40,251	106.8	104.1	112.1	13.4	13.0	14.0	0.8	0.7	0.8	390	373	626	16	38	59
C 相模が丘コース	小型バス	10	13.55	62,039	70,610	77,813	172.8	196.1	216.7	17.3	19.6	21.7	1.3	1.4	1.6	1	4	0	12	18	65
D 東原・ひばりが丘南コース	ワゴン	12	7.05	9,935	10,227	10,072	27.7	28.4	28.1	2.3	2.4	2.3	0.3	0.3	0.3	28	22	12	1	1	0
E 西部方面循環右回り・左回りコース	ワゴン	9	11.18	11,707	12,544	13,806	32.6	34.8	38.5	3.6	3.9	4.3	0.3	0.3	0.4	9	10	24	7	12	8
合計		57	56.33	154,405	165,686	176,844	430.1	460.2	492.6	41.6	44.2	47.7	3.4	3.6	3.9	628	808	1129	43	77	161

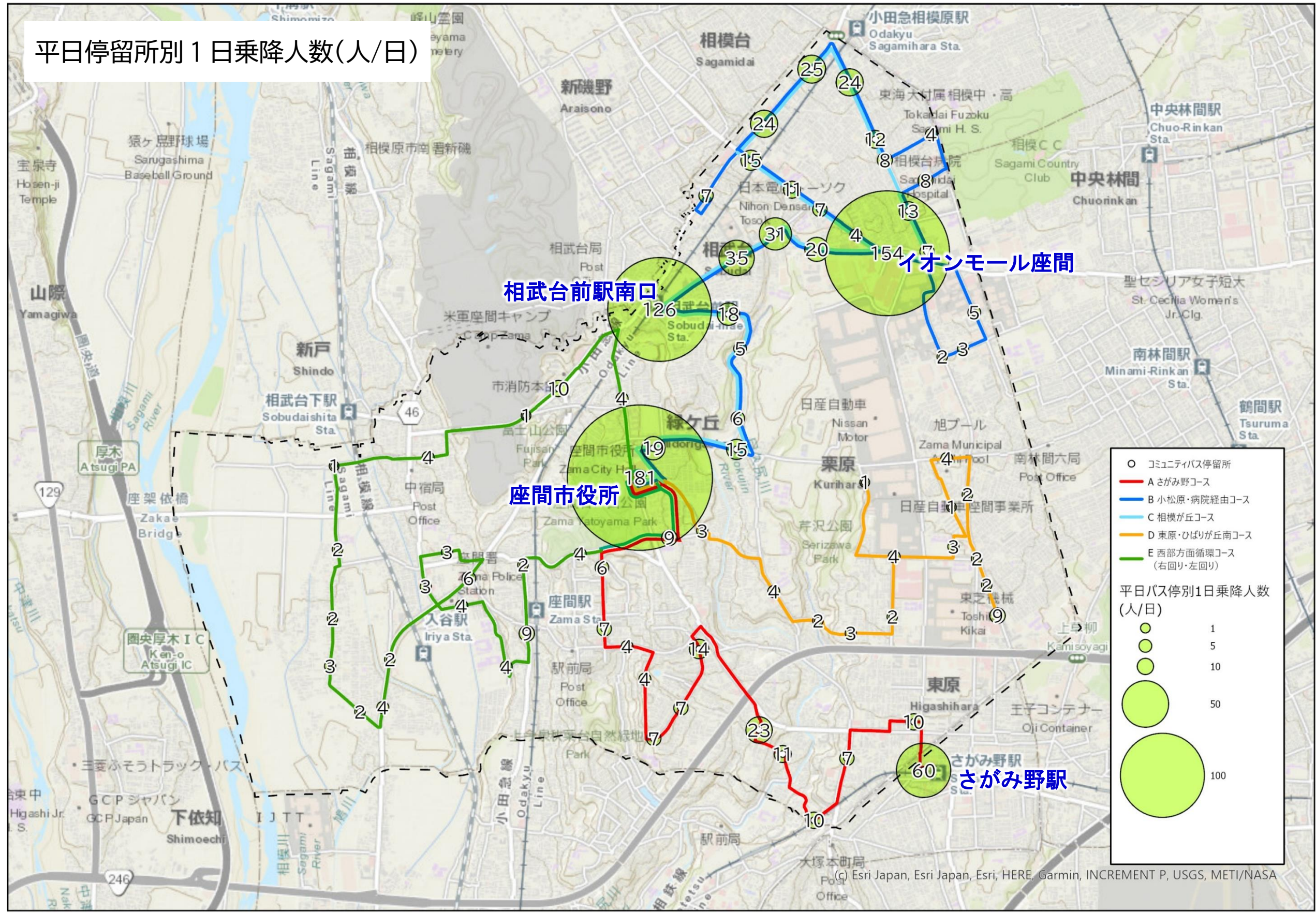


②平日停留所別乗降人数

■座間市役所、イオンモール座間、相武台前駅南口、さがみ野駅の順で乗降人数が多くなっています。

データ集計期間：令和6年10月1日～令和7年7月31日（10か月間、304日間）

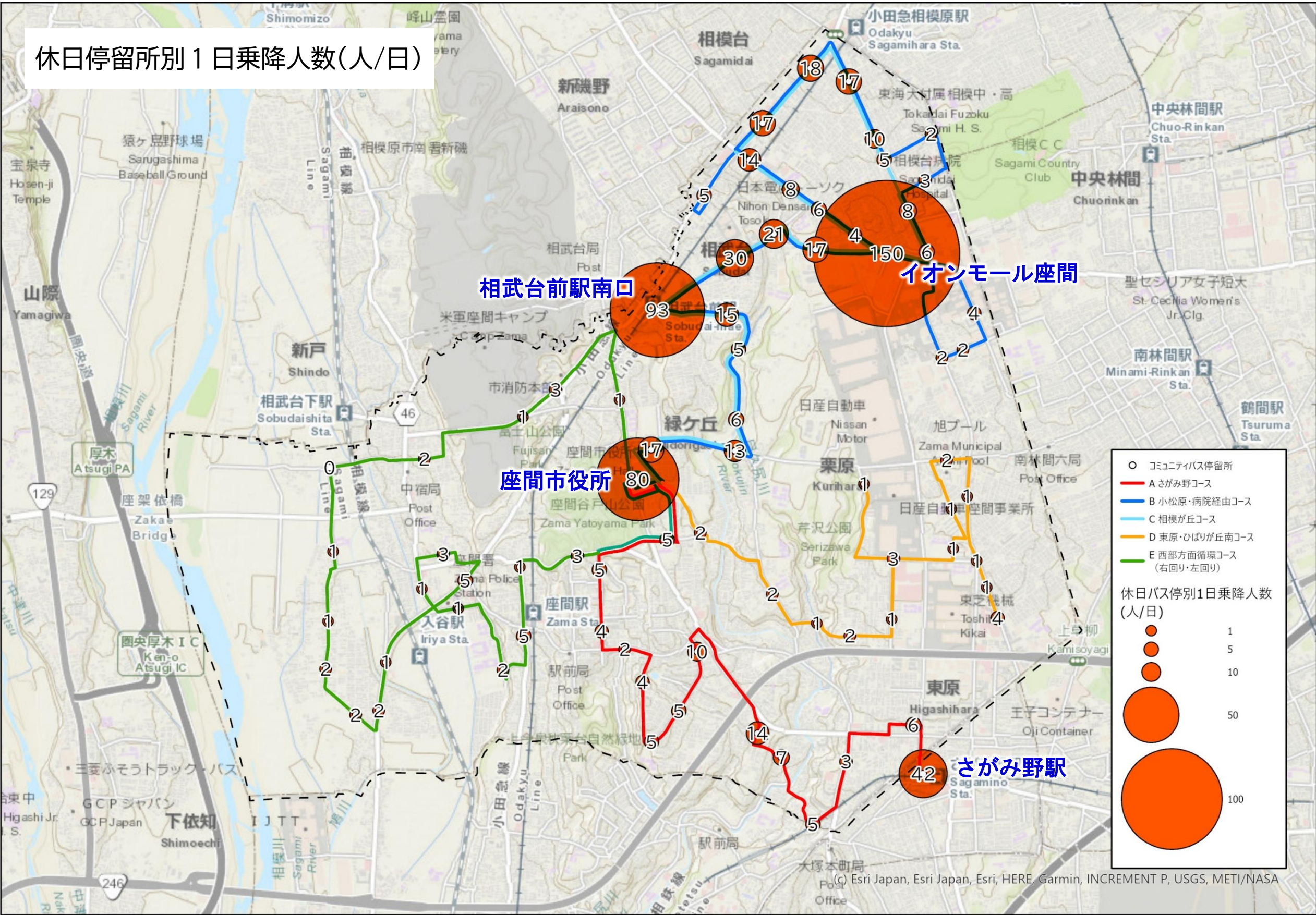
平日停留所別1日乗降人数(人/日)



③休日停留所別乗降人数

■イオンモール座間、相武台前駅南口、座間市役所の順で、乗降が多くなっています。

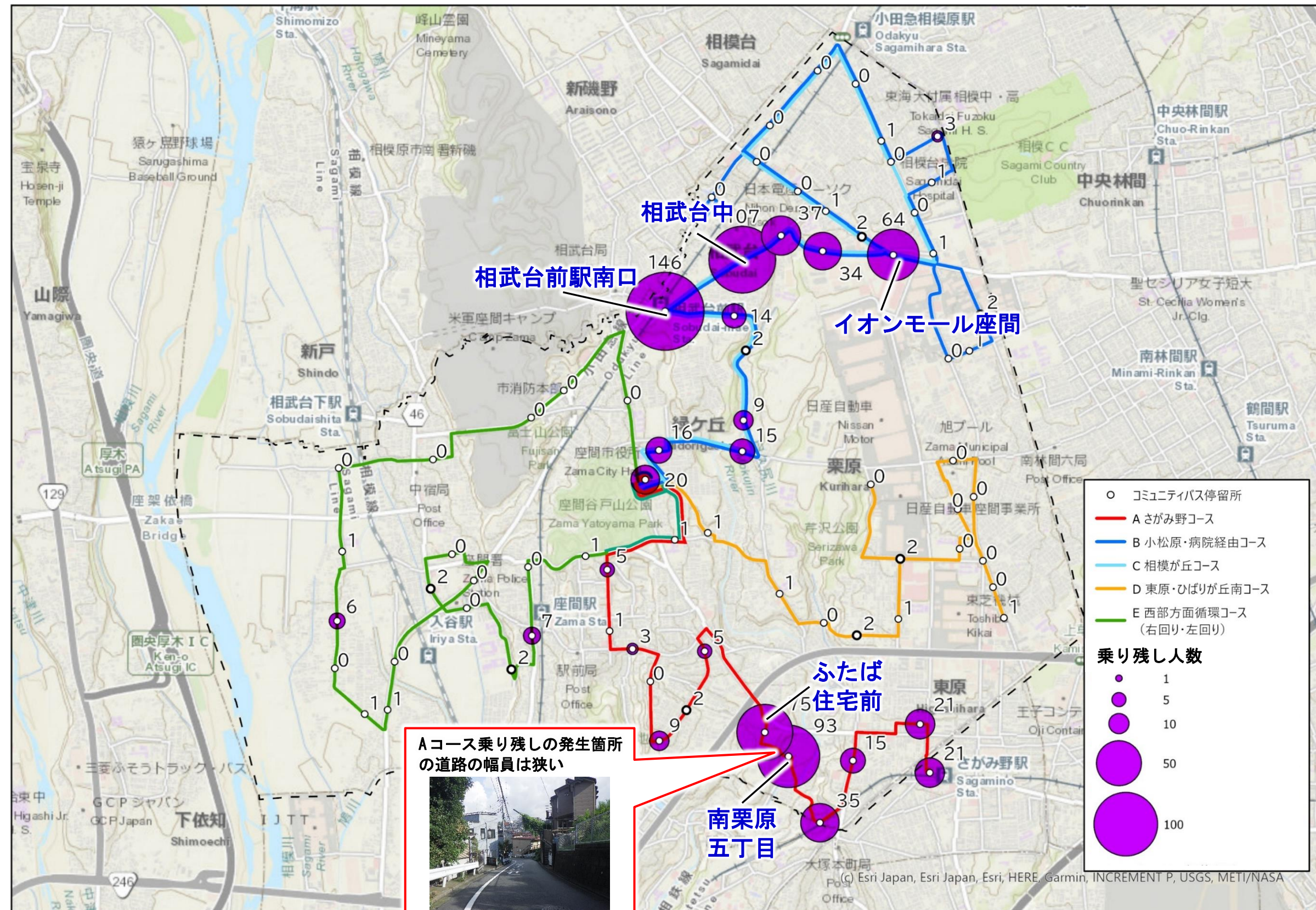
データ集計期間：令和6年10月1日～令和7年7月31日（10か月間、304日間）



④停留所別乗り残し人数（10 カ月間の合計）

- 「A さがみ野コース」では、「南栗原五丁目」や「ふたば住宅前」において、乗り残しが多く発生しています。
- 「B 小松原・病院経由コース」では、「相武台前駅南口」と「イオンモール座間」間において、乗り残しが多く発生しています。ただし、B コースは小型バスで運行している「C 相模が丘コース」と重複しており、他コースと比べて便数が確保されています。

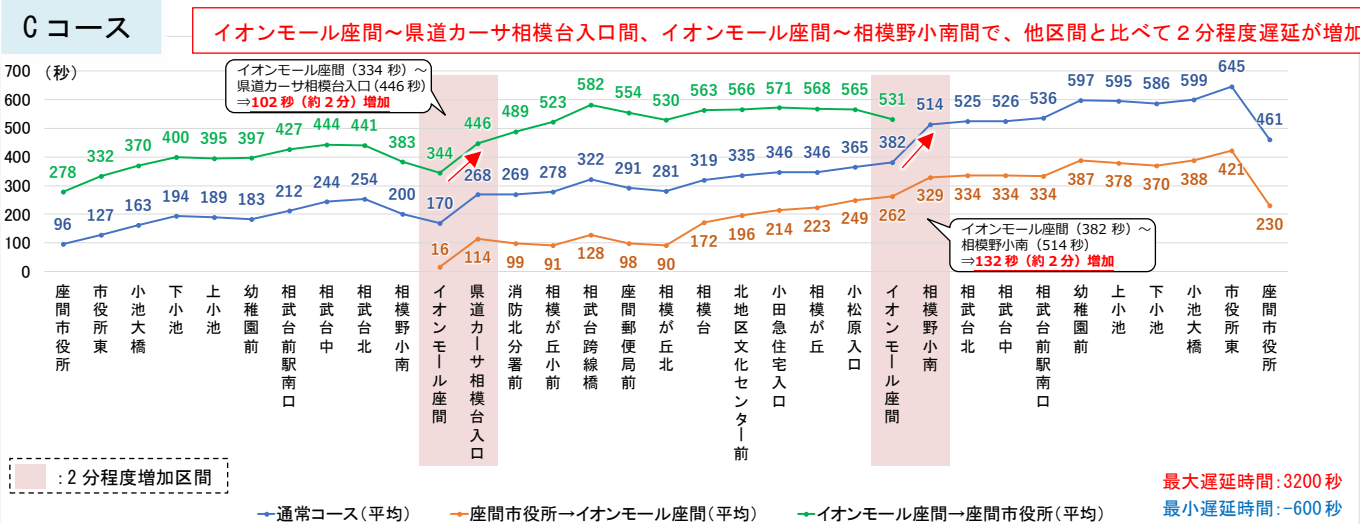
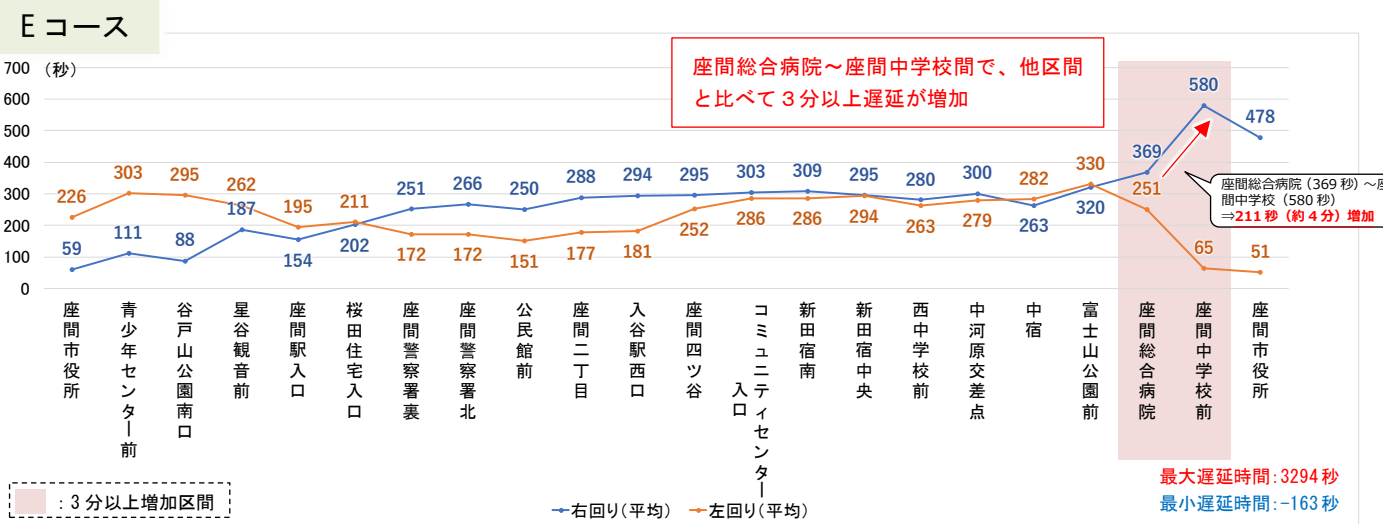
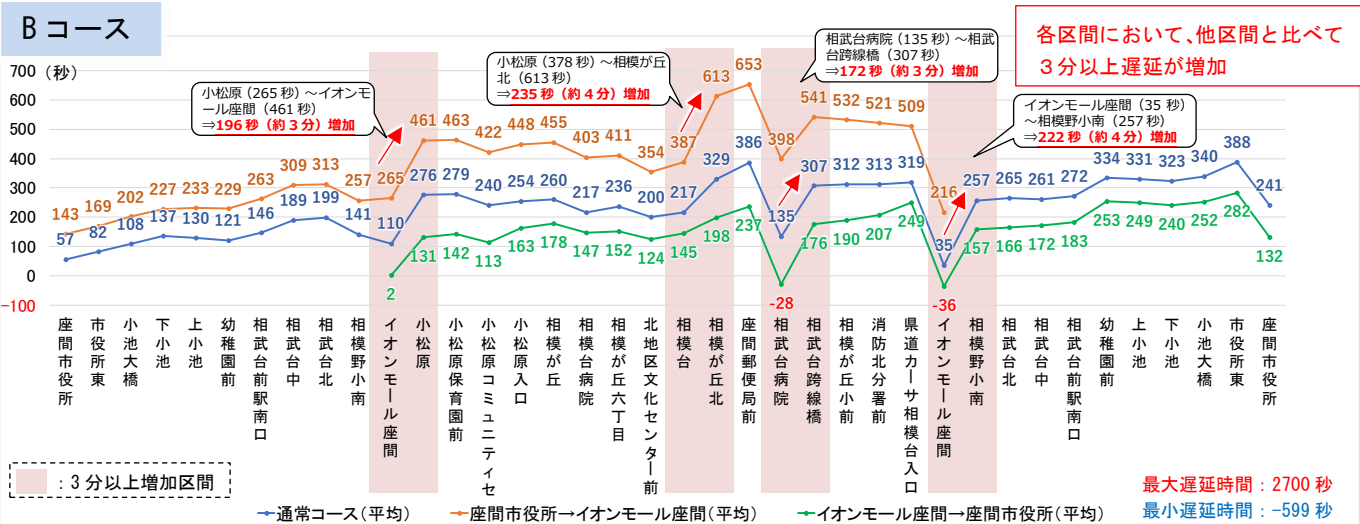
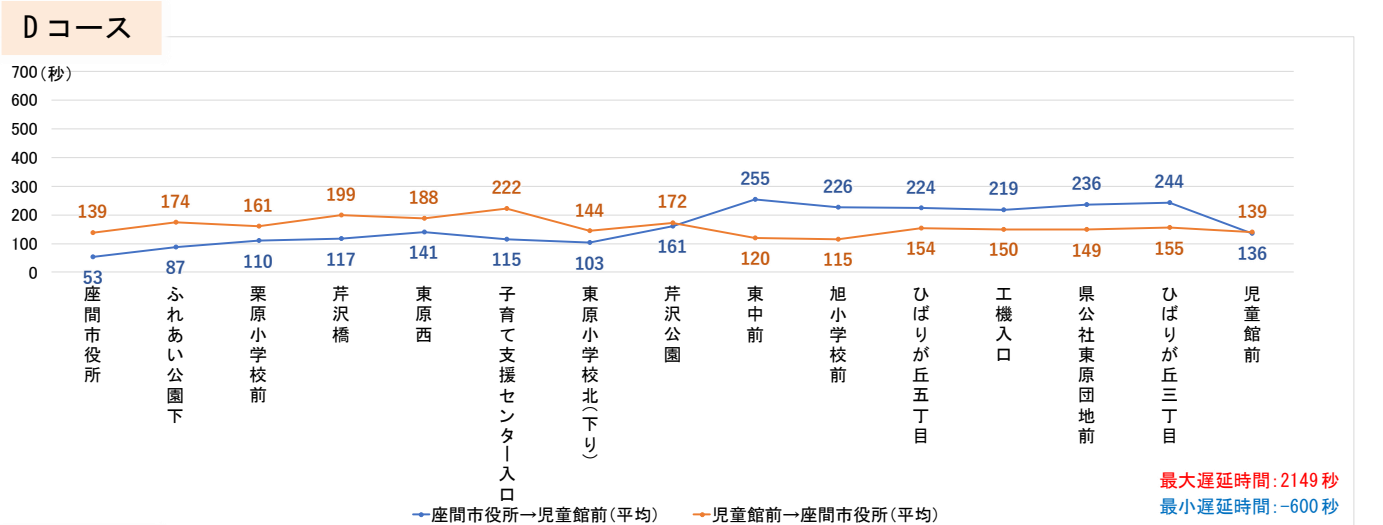
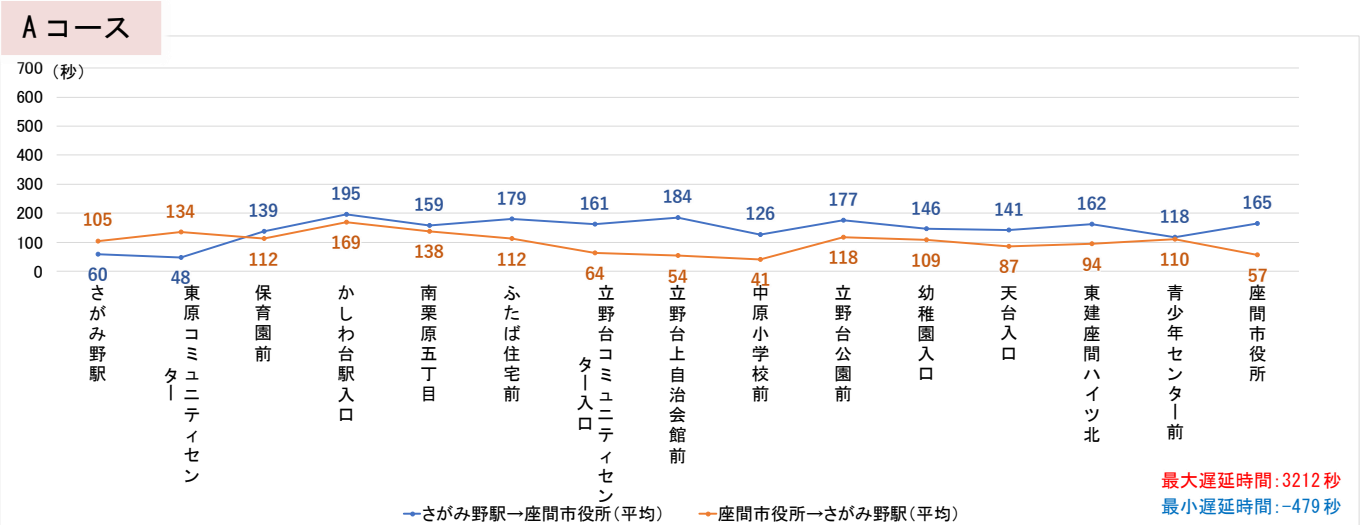
データ集計期間：令和6年10月1日～令和7年7月31日（10カ月間、304日間）



⑤運行ルート of 状況

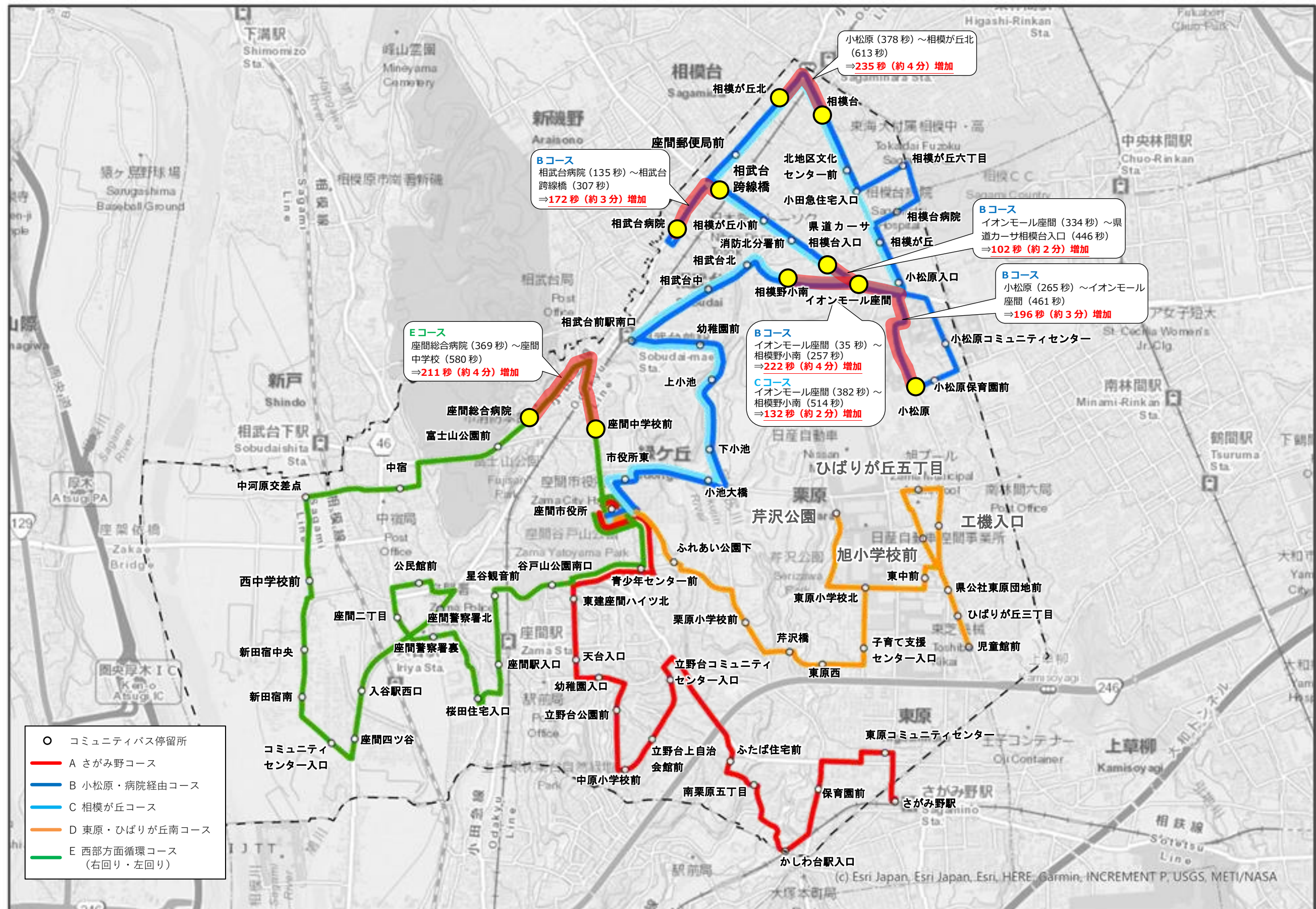
- 各コースにおいて、遅延が発生している状況です。Aコース、Dコースは、どの区間においても同程度の遅延が発生しています。
- Bコースにおいては、**イオンモール座間～小松原間、相模台～相模が丘北間、相武台病院～相武台間、イオンモール座間～相模野小南**では、他の区間と比べて**3分以上**の遅延が増加しています。
- Cコースにおいては、**イオンモール座間～県道カーサ相模台入口間、イオンモール座間～相模野小南間**では、他の区間と比べて**2分程度**の遅延が増加しています。
- Eコースにおいては、**座間総合病院～座間中学校間（小田急線の踏切付近）**では、他の区間と比べて**3分以上**の遅延が増加しています。

＜各コースの遅延状況＞



※データ集計期間：2025 年 1 月～6 月

＜ルートの遅延状況整理＞



(4) 座間市コミュニティバスの収支状況・運賃の設定状況

<収支状況>

- 「運行経費」は、近年、人件費、燃料費等の高騰に伴い増加傾向にあり、「運行経費」を「座間市の人口」で除した「1人当たり経費」も増加傾向にあります。
- 「運賃収入」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で令和2年度の利用者数の大幅減少に伴い減少していますが、その後は回復傾向にあります。令和6年度には新型コロナウイルス感染症拡大以前の水準を上回るまで回復しています。
- 「運行経費」「運賃収入」とともに増加しており、収支率推移は概ね横ばいとなっています。

<運賃の設定状況>

- 現在のコミュニティバスの運賃は150円(1回乗車)です。一方、市内を運行する神奈川中央交通の初乗り運賃は230円、相鉄バスの初乗り運賃は220円に設定されており、運賃設定に開きが生じている状況です。

年度	運行経費 (百万円) (コミバス運行委託料)	運賃収入 (百万円) (コミバス運行運賃)	収支率(%) (運賃収入/運行経費)	座間市人口(人) (各年度3月時点)	1人当たり経費 (円)
	a	b	$b/a \times 100$	c	a/c
R1(H31)	107.0	23.4	21.8%	130,621	819
R2	107.1	17.6	16.5%	132,261	809
R3	106.2	20.2	19.0%	132,151	804
R4	103.2	22.1	21.4%	131,963	782
R5	111.6	22.8	20.5%	131,875	846
R6	127.1	25.7	20.2%	131,722	965
R7	130.4	25.9	19.9%	131,696	990

※人口・・・国勢調査（令和2年10月1日時点）の結果を基礎として住民基本台帳法および戸籍法に定める届け出などの増減を加減して推計（出典：座間市総合政策部総合政策課企画調整係）

(5) サービスに関するアンケート結果

- 以下はコミュニティバス利用状況調査（令和7年度実施）の結果を抜粋したものです。
- 図 A はコミュニティバスの改善した方が良い点を聞いたもので、運行本数の増加を求める声が最も多くなっています。また、A コースや B コースを中心に、定員 10 名のワゴン車両で運行しているコースにおいて乗り残しが発生していることから、乗車定員を増やす意見も多くなっています。
- 図 B はコミュニティバスの支払方法への意向を示したもので、IC カードへの対応を求める声が多くなっています。

問14 ザマフレンド号がどのように改善されると、より利用しやすくなると思いますか。（当てはまるものを全て選択）

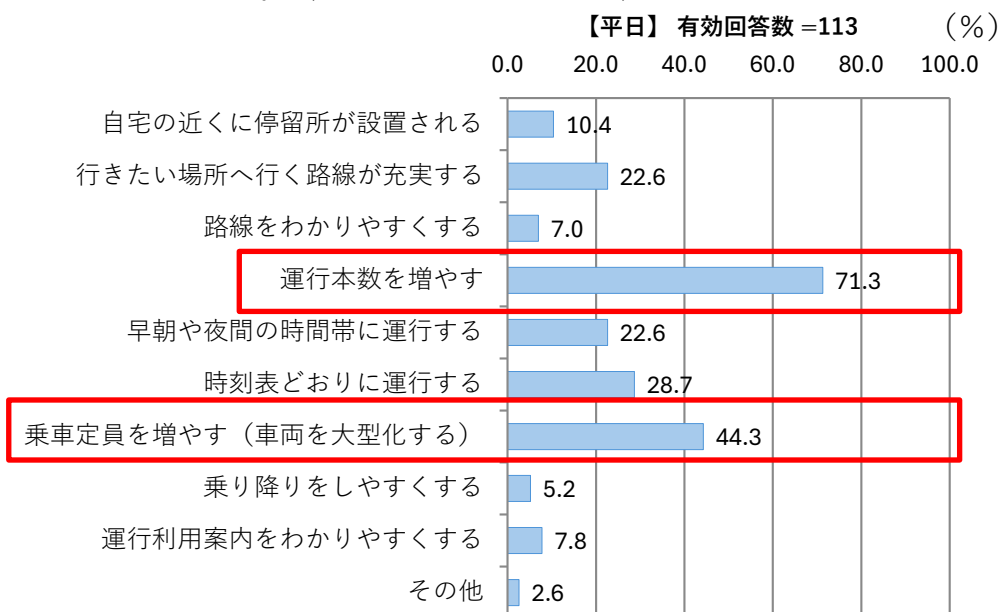


図 A ザマフレンド号の改善した方が良い点

問15 ザマフレンド号の運賃の支払い方法等がどのように改善されると、より利用しやすくなると思いますか。（当てはまるものを全て選択）

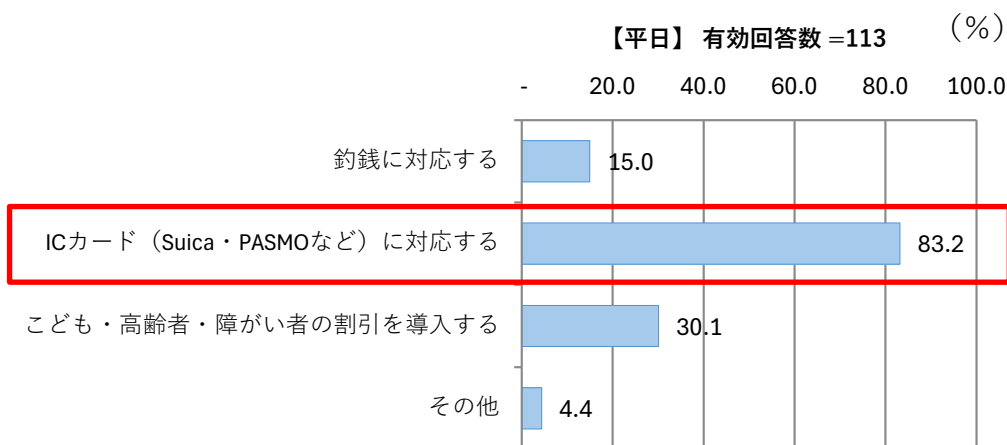


図 B コミュニティバスの支払方法への意向

(6) コミュニティバスを含む市内バス路線を取り巻く現状

- 近年、バス業界では時間外労働の規制適用（いわゆる 2024 年問題）や運転士の高齢化の進行などにより、全国的に人手不足となっています。座間市内においても運転士不足に伴い民間路線の維持が難しくなっており、一部路線では減便を余儀なくされています。
- 直近では、上記の影響により台 04 系統（相武台前駅－座間四ツ谷路線）の路線のあり方について検討されています。

■緑色着色部分は「台 04 系統」（相武台前駅－座間四ツ谷路線）
以外の民間路線バスの運行が無い範囲



出典：神奈川中央交通株式会社ホームページ（一部加筆）

2. 座間市コミュニティバス見直しの方向性

(1) 課題と対応方針案

■前項までに、コミュニティバス「ザマフレンド号」に関する現状を整理しました。

■喫緊の課題として、乗り残しへの対応、支払い方法など利用者からの改善要望への対応などがあり、また、民間路線バスの1路線廃止への対応も必要となったことから、以下に示す形で、令和9年4月での見直しによる対応を予定しています。

＜見直しに際しての制約条件＞

・車両調達に時間を要する状況から、早期の車両台数増加は困難であるため、今回の見直しでは車両の追加は行わず、現在の運行車両数（小型バス1台、ワゴン車5台）で対応します。

■運行見直しで対応する課題と対応方針案

ザマフレンド号の現状	課題	対応方針
①コミュニティバスの運行実績の推移（令和4年度～令和6年度） ②③平日・休日の停留所別乗降人数 ④停留所別乗り残し人数 →Aコース、Bコース、Cコースでの利用が多い →Bコース、Aコースにおいて乗り残しが多く発生	【課題1】 他コースとの重なりがなく、道路事情から車両の大型化も難しい 「Aさがみ野コース」での乗り残しの対策	①Aさがみ野コースの乗り残し対応 全体的なダイヤ見直し、また、運転士の追加等により 合計10便増
⑤運行ルート の状況 →Dコースは全体的に利用者数が少なく、利用実績は低調となっている →Eコースについては、交通量の多い道路を通っており、踏切前後での渋滞に伴い、遅延が発生している	【課題2】 渋滞や運行における安全性及び利用状況等を踏まえたルート見直しによる全体的な運行の効率化	②D、Eコースのルート見直し D 東原・ひばりが丘南コース E 西部方面循環コース →一部ルート短縮
（4）座間市コミュニティバスの収支状況・運賃の設定状況 →利用者数は増加傾向だが、運行経費も昨今の人件費や燃料費の高騰が要因で増加しており、収支率は横ばい →路線バスとコミュニティバスの運賃の差が拡大	【課題3】 収支の改善の他、民間路線バスとの運賃格差の縮小を図る取組み	③運賃改定の実施 運賃改定（150円→200円）
（5）サービスに関するアンケート結果 →運行本数や車両定員増に関する意見の他、交通系ICカード決済への対応など、支払い方法に関する意見が多くみられる	【課題4】 利用者が求める支払い方法への対応	④簡易型IC決済端末の導入 簡易型IC決済端末の導入、回数券販売終了
（6）コミュニティバスを含む市内バス路線を取り巻く現状 →令和9年3月に民間路線バスの「台04系統」（相武台前駅―座間四ツ谷路線）の廃止が予定されており、他路線とも重なっておらず、民間路線バスの運行が無くなる地域がある	【課題5】 民間バス路線（台04系統）のあり方の検討への対応 ※特に他路線とも重なっていない座間四ツ谷―新河原宿間	⑤台04系統のあり方の検討への対応（実証運行の検討） ・一部ルートが重なっているコミバスE西部方面循環コースで対応。夕方帰宅時間帯対応のため時刻表調整 ・朝の通勤通学時間帯は実証運行（1乗車200円）で対応（今後のコミュニティバスに組み込むかどうか検討。コミュニティバス車両、運転士にて運行）

なお、次年度以降も継続して、全体的な利便性向上に向けた運行見直し検討を行ってまいります。

(2) 各課題への対応内容

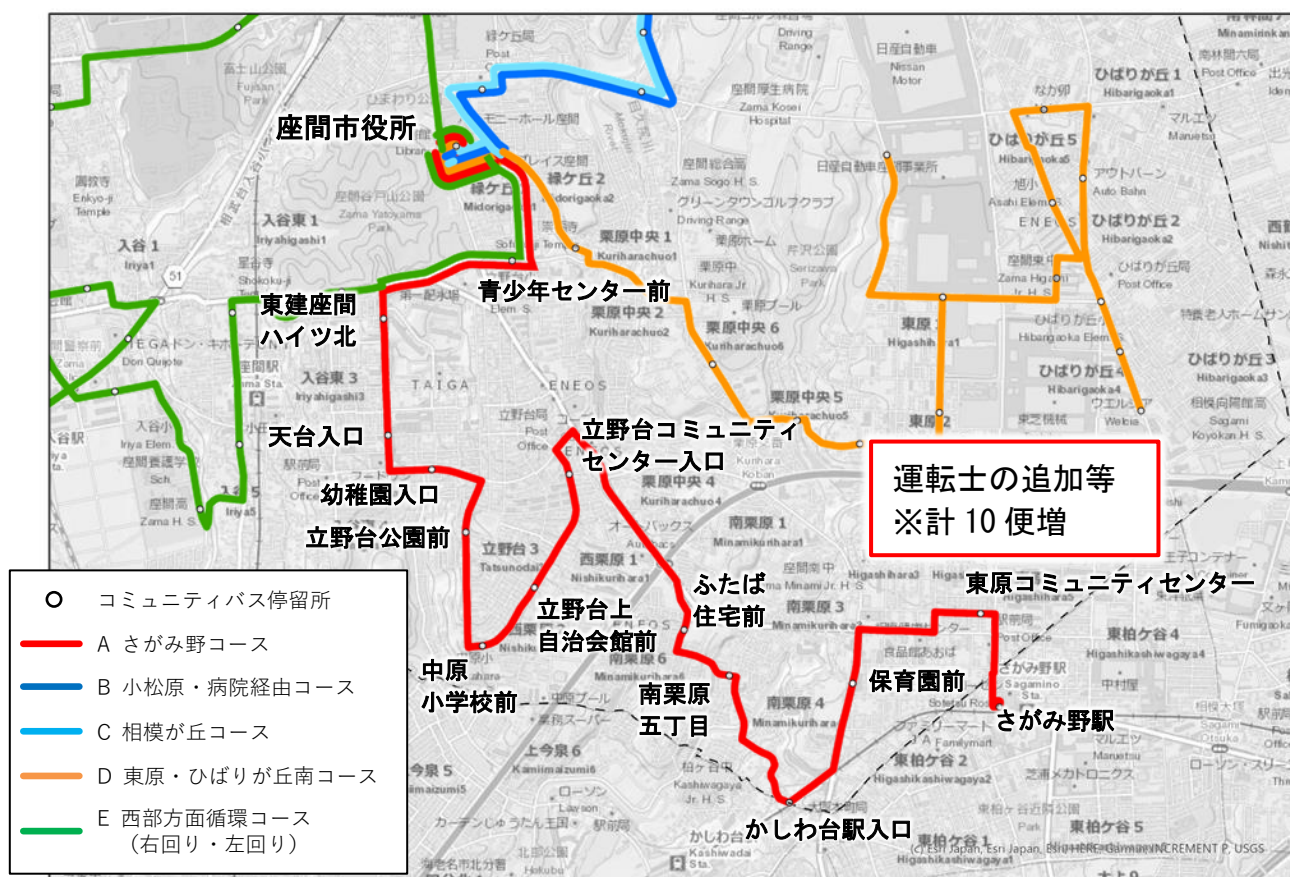
①A さがみ野コースの乗り残し対応

【課題】

- 「南栗原五丁目」や「ふたば住宅前」の道路幅員の狭い箇所における停留所で乗り残しが発生しており、対策が必要です。

【対応】

- 全体的なダイヤの見直し、また、運転士の追加により、基本 45 分間隔での運行とします。合計 10 便の増となり、輸送力の向上を図ります。



②D、Eコースのルート見直し

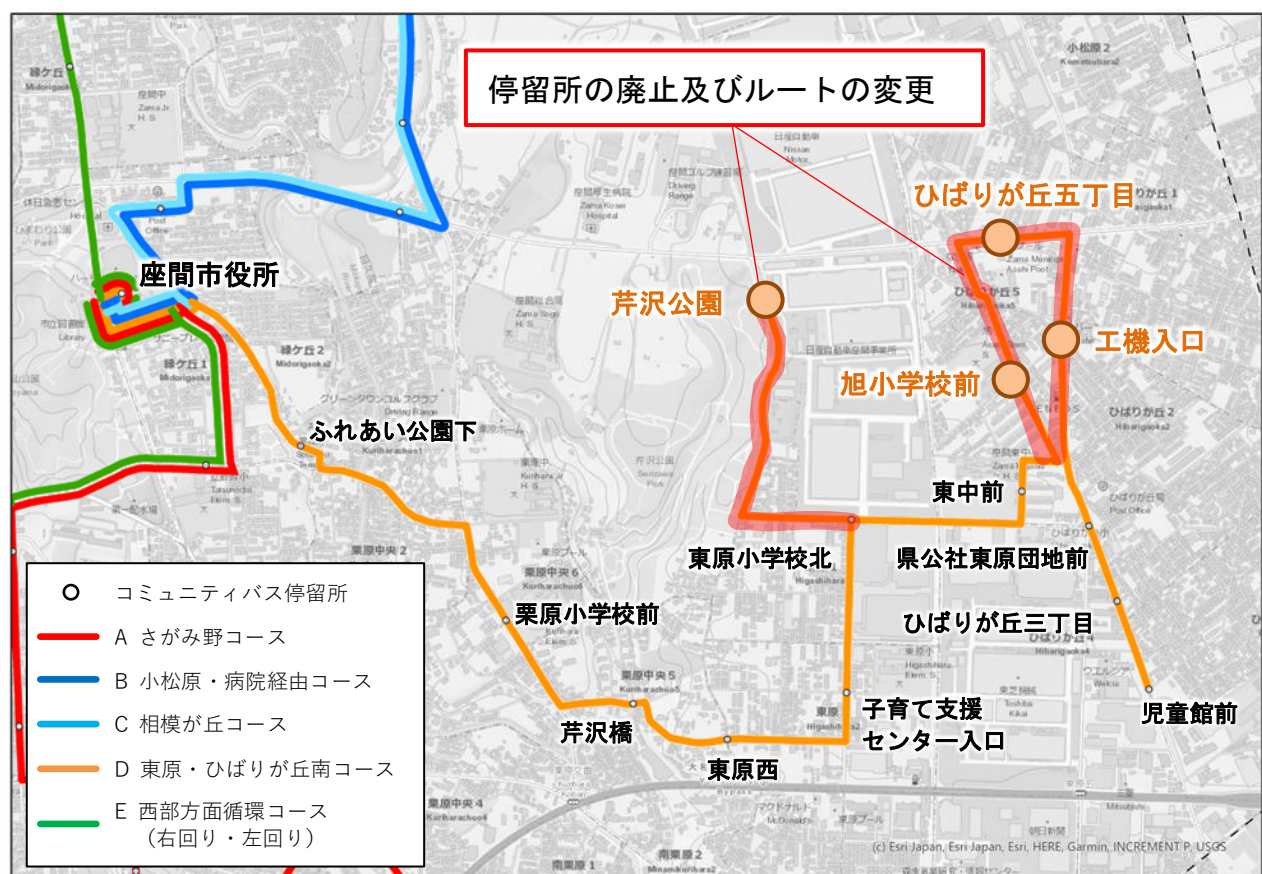
D東原・ひばりが丘南コース

【課題】

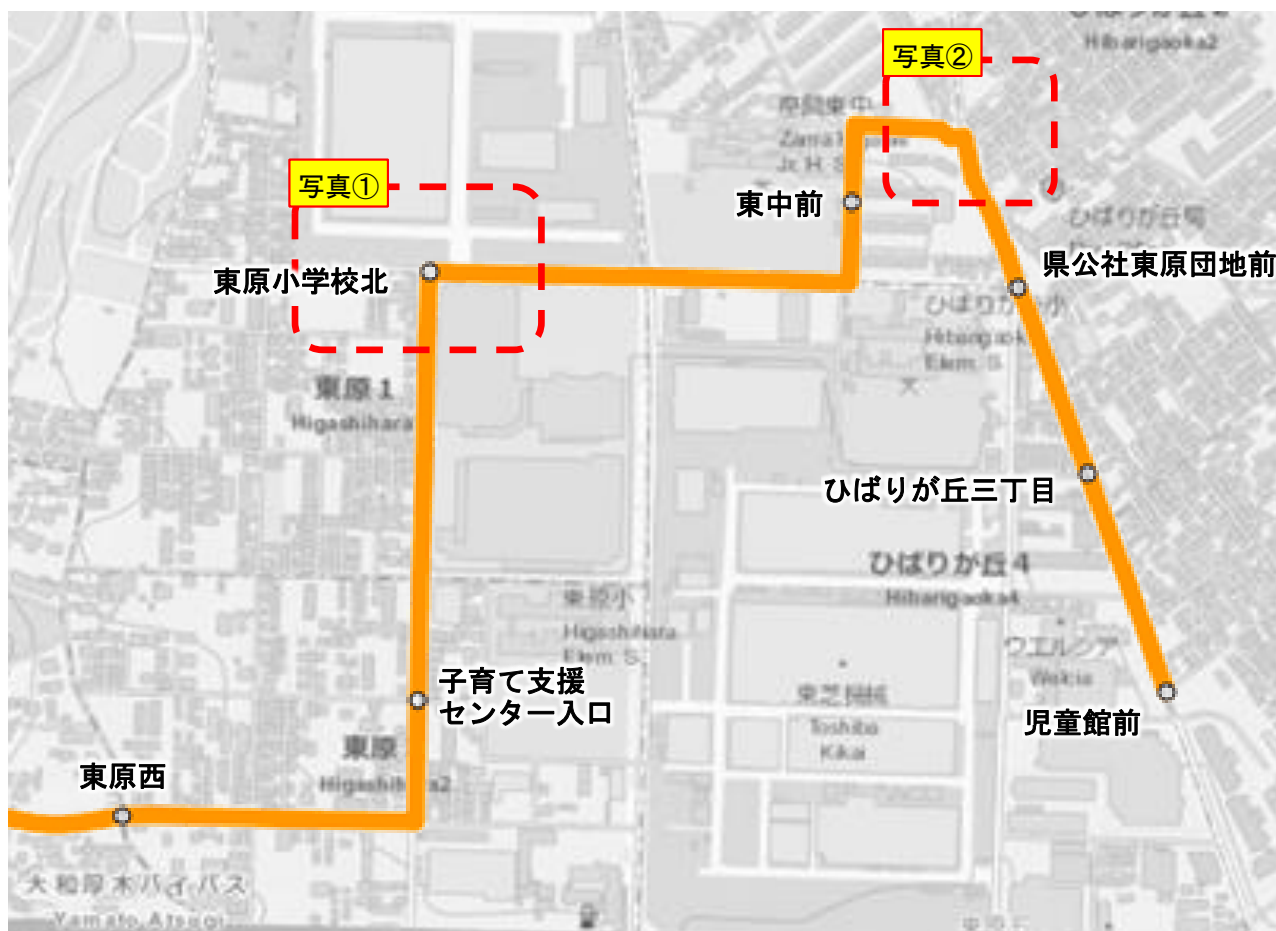
- 「芹沢公園」「旭小学校前」「ひばりが丘五丁目」「工機入口」停留所の利用は少なく、利用状況等を踏まえたルート見直しによる全体的な運行の効率化が必要です。

【対応】

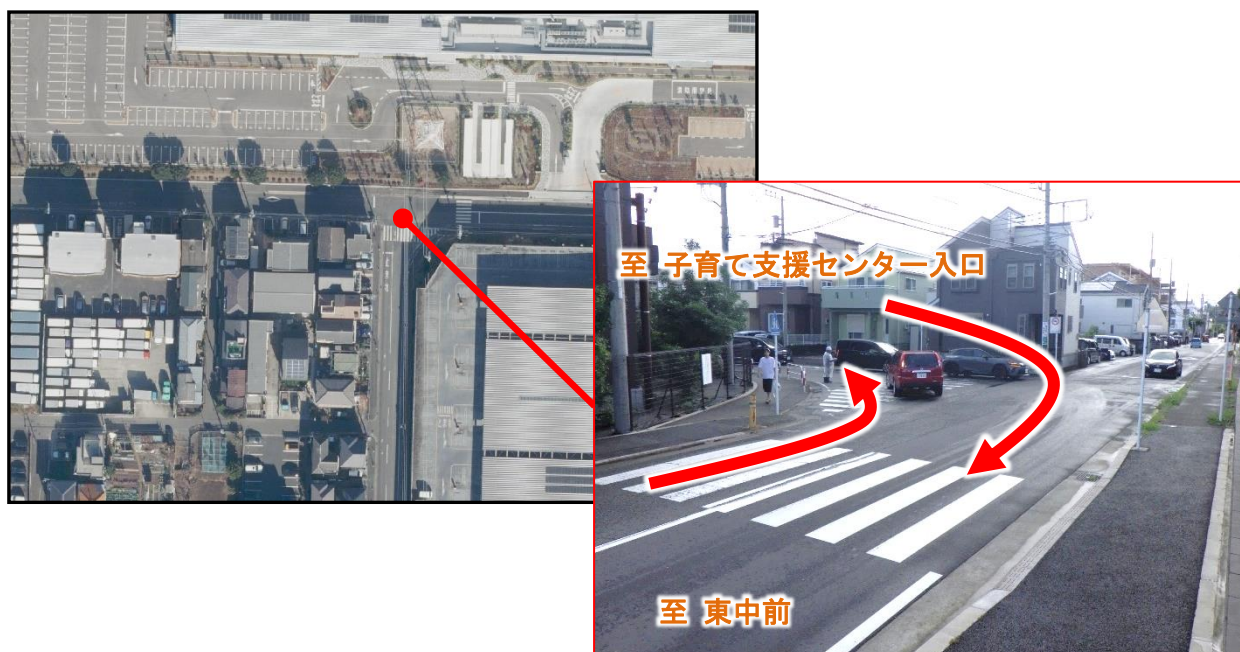
- 「芹沢公園」「旭小学校前」「ひばりが丘五丁目」「工機入口」停留所を廃止し、ルート変更を実施します。（新ルートは H24 年 3 月 1 日～H29 年 1 月 31 日に設定していたルートです。）
- なお、「ひばりが丘五丁目」「工機入口」停留所については、民間路線バスの停留所と重複していたため、民間路線バスの利用促進を図ります。



【新ルート（※H24年3月1日～H29年1月31日まで運行していたルート）】



写真① 東原小学校北付近の状況



写真② 東中前～県公社東原団地前間の状況



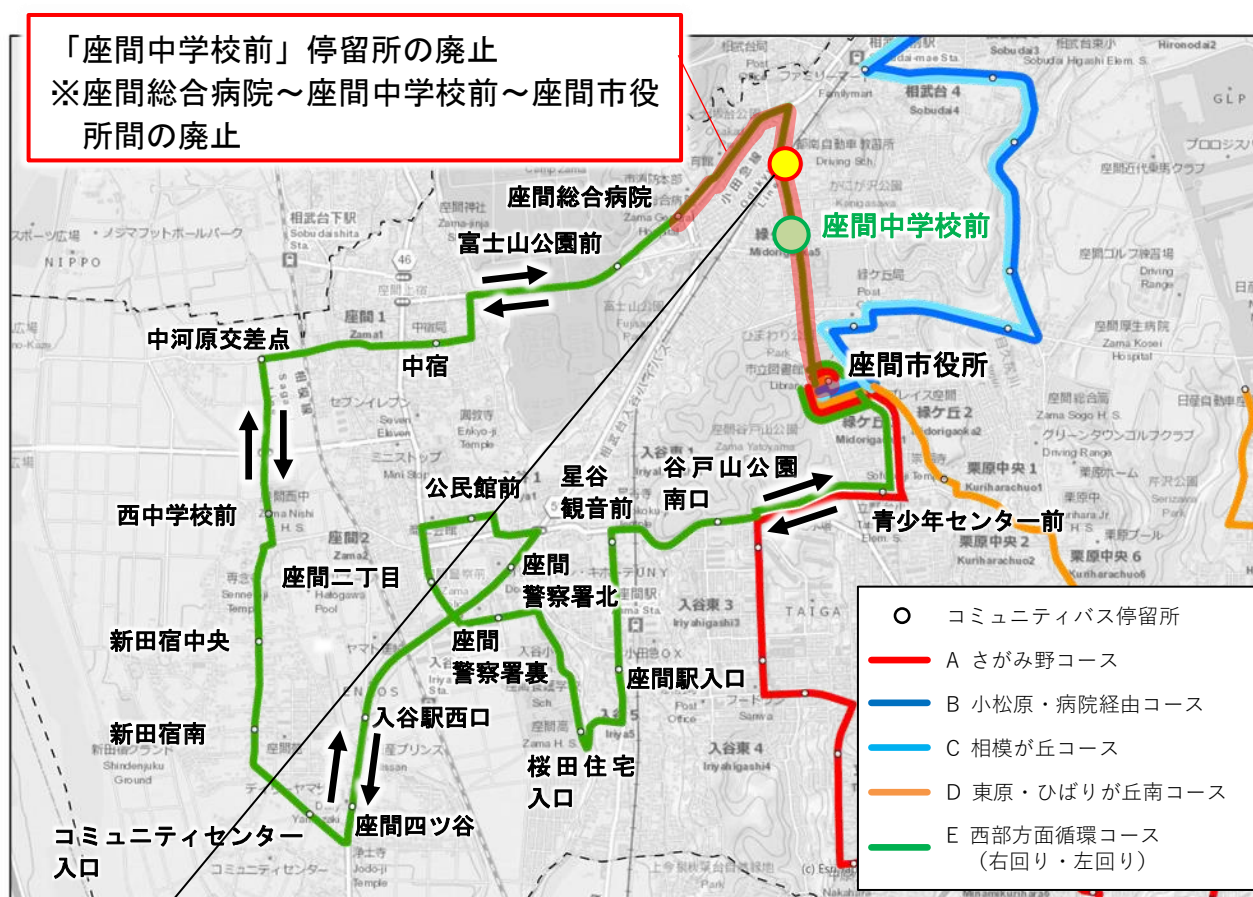
E 西部方面循環コース

【課題】

- 「座間総合病院」～「座間中学校」間（小田急線の踏切付近）における、遅延の状況を踏まえ、ルート見直しによる全体的な運行の効率化が必要です。

【対応】

- 「座間中学校前」停留所を廃止し、循環系統から「座間市役所」⇔「座間総合病院」間の往復系統に変更します。



小田急線の踏切付近の状況



小田急線の踏切の影響により、
道路の渋滞が発生。

③運賃改定の実施

【課題】

- また、利用者数は増加しているものの、運行経費は高騰しているため、収支率は横ばいが続いており、運行継続に向けた収支の改善が必要です。
- 現行のコミュニティバスの運賃は、1乗車 150 円として設定していますが、民間路線バスの初乗り運賃との差（市内民間路線バスの初乗り運賃：神奈川中央交通 230 円、相鉄バス 220 円）への対応が必要です。

【対応】

- 現在の収支状況、および運賃 200 円への改定後の収支シミュレーション（簡易算出）は下表の通りです。利用者数は令和 7 年度と同等、運行経費は 3%増（令和 6 年度⇒令和 7 年度の増加率）と仮定した場合、運賃改定により収支率が 7 ポイント程度改善することが予想されます。
- 神奈川県内における運賃改定事例（物価・燃料高等に伴う改定）を踏まえて、運賃協議会において 200 円を基本として協議を予定しています。

※神奈川県内の運賃改定事例（直近 5 年間での改定事例）

- ・海老名市（コミュにティバス）：運賃 150 円→200 円（2023 年 10 月）
- ・大和市（コミュニティバス）：のろっと 運賃 100 円→200 円（2026 年 10 月）
やまとん GO、のりあい 運賃 150 円→250 円（2026 年 10 月）

表 運賃改定後の収支シミュレーション（簡易算出）

	令和7年度 (実績)	運賃改定後 ※運行経費3%増
a：運賃（円）	150	200
b：利用者数（人）	181,474	181,474
c：運行経費（円）	130,402,800	134,314,884
d：運賃収入(d=a×b)	25,895,400	36,294,800
e：収支率(e=d/c)	19.9%	27.0%

※令和 6 年度⇒令和 7 年度の増加率（3%）を活用

※令和 7 年度の運賃収入は、現金収入と回数券による収入の合計値

④簡易型 IC 決済端末の導入

【対応】

- コミュニティバスの決済手段の拡充を図るため、令和 9 年度に簡易型 IC 決済端末を導入し、交通系 IC カードでの運賃支払いを可能とします。
- 従来の回数券の販売は廃止とします。

▼簡易型 IC 決済端末のイメージ



出典：株式会社 JR 西日本テクシア ホームページ

⑤台 04 系統のあり方の検討への対応（実証運行の検討）

【対応】

- 台 04 系統のあり方の検討において、廃止の検討に至った場合には、朝の通勤・通学時間帯に 1 便、当該路線の一部区間「座間四ツ谷」→「座間駅」の実証運行（1 乗車 200 円）の実施を検討しています。
- コミュニティバス「C 相模が丘コース」の始発便運行前に、当該コースの小型バスを使用して運行します。



出典：神奈川中央交通株式会社ホームページ（一部加筆）

(3) その他

①停留所の名称変更

令和9年度より、下記の変更理由により4つの停留所の名称を変更します。

No.	コース	変更前	変更後	変更理由
1	Aコース	幼稚園入口	立野台公園北	神奈川中央交通株式会社の停留所名称変更に合わせてため。
2	Bコース	相武台病院	相武台リハビリテーション病院	病院側からの名称変更の要望を受けたため。
3	A、Eコース	青少年センター前	立野台小学校北	建物用途の変更のため
4	B、Cコース	幼稚園前	小池坂上	神奈川中央交通株式会社の停留所名称変更に合わせてため。

②今後のスケジュールについて

今後のスケジュールは以下の通りです。9 月末まで運行見直しに関するパブリックコメントを実施し、その結果を踏まえて第 2 回地域公共交通会議にて運行計画案を諮る予定としています。

運行計画の変更に関する協議が調ったのち、国への運行計画変更の手続きを進め、令和 9 年度からの適用を目指します。さらに、運行計画変更に関する周知及び利用促進に関する取り組みも進めます。

	令和8年												令和9年										
	8月			9月			10月			11月			12月			1月		2月		3月			
(1) 地域公共交通会議・パブリックコメント																							
地域公共交通会議			第1回 (本日) ★				第2回 (予定) ★																
運賃協議会							第1回 (予定) ★																
パブリックコメント			パブリックコメント実施																				
(2) 国への運行計画変更の手続き																							
運輸支局への申請・処理													申請書提出 ★	処理期間									
(3) 周知・利用促進																							
バス停表示変更、 パンフレット作成等													バス停表示・広報物の準備、作成										
変更周知																		運行内容変更の周知					

③運行ルート案

